

令和5年度事業報告

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

I 会員の状況

会員数	期首	21
	期末	21

II 役員・職員の状況

役員	9名
理事	7名（会長1名、副会長1名、専務理事1名を含む）
監事	2名
職員	2名（事務員2名）

III 主な事業概要

1. バス活性化(利用促進)対策事業について

(1) 「バスどこ大分」、「バスなび大分」及び「バス停大分」の運営

パソコン及び携帯電話からインターネットを介し、県内路線バスのダイヤ情報、経路検索、地域情報等のバス情報等提供システムの運営（委託事業）しており「バスどこ大分」が年間約105万件、「バスなび大分」3万件のアクセスがあり、多数の利用者に活用されている。

また、「バス停大分」は、大分県内のバス会社のバス停のバリアフリー化の状況をパソコンや携帯電話で調べることができるシステムの運営（委託業務）をしており年間約4.3万件のアクセスがあり、利用者に活用されている。

(2) 「大分県オープンデータ」への情報公開

乗合バス運行情報を「標準的なバス情報フォーマット」の形式で整備、公開し、路線バスの運行情報について地図アプリや経路検索サイトなどの多様なサービスへの繋ぎを図り、利用者の増加に繋げた。

(3) バスの日（9月20日）諸活動

バスの日の広報としてラジオ特番（9/20バスの日特集）及びテレビCMを行った。また、バスへの親しみと関心を深めてもらうことを目的に県教育委員会等の後援をいただき、「のってみたいな！こんなバス」をテーマに大分県内小学生対象に絵画コンクールを実施。（応募作品：県下85校399点）

9月16日OBS大分放送にて表彰式（入賞者10名）を行った。また、最優秀賞作品はバス3台にラッピングし、令和5年度末まで運行。

2. 労働問題への対応

(1) 「バス運転者の改善基準の改正（令和6年4月から適用）」の説明会を6月27日開催した。

講師：大分労働局

参加者：会員54名

(2) バス運転士不足への取組みとして、10月29日大分自動車学校にて「バス運転士募集おおいた2023」と題し会社説明会及びバス運転体験を実施した。参加者14名

なお、事業費用の一部は、日本バス協会から「運転者人材確保のための取組事例に対する助成」を受けた。

3. 各種交通輸送関係協議会への参画

大分県地域間生活交通確保維持協議会 / 大分県地域公共交通活性化協議会

大分県交通渋滞対策協議会 / 大分県交通安全推進協議会

大分県高速道路交通安全協議会 / 大分都市広域圏ビジョン会議

大分都市圏総合都市交通計画推進協議会

大分市自転車走行空間ネットワーク整備推進協議会

大分県内各市町地域公共交通会議等

4. 貸切バスの諸問題対策の推進

(1) 貸切バス事業者安全評価認定制度について、県の教育委員会等へ安全評価認定事業者を積極的に利用していただくよう要望すると共に貸切バス事業者安全評価認定事業者の訪問審査を行った。

県内協会員（2024年3月31現在） 3ツ星9社、2ツ星2社、1ツ星6社

(2) 「貸切バス運賃・料金の見直し」（令和5年10月から）の説明会を9月7日開催した。

講師：九州運輸局旅客第一課貸切係長

参加者：会員33名 旅行会社8社8名

(3) 大分市要町貸切バス駐車場予約管理業務委託(収益事業)について

待機場使用許可事業所 238社

予約件数 4,645件、利用件数 4,165件

5. 貸切バスの適正化事業について

令和3年度より「九州貸切バス適正化センター」から委託を受け、今年度は、県内全27営業所中16営業所に巡回指導を行った。

6. 運輸事業振興助成補助金事業について

令和5年度補助金として、大分県より12,124,000円の交付を受け、安全運行対策事業、輸送施設整備事業、輸送サービス改善事業について、共同事業及び各会員事業者への助成事業を実施し、バス利用者への利便の向上に努めた。

助成事業

交通安全運動幕 2枚 / IP無線機 1台 / アルコール検知器 5台

巻込み確認カメラ 1式 / バス停上屋 1式 / バス停標識 13基

バス停丸板 40枚 / 停留所案内板 1式 / 車載用除菌器 4台

方向幕 1 式 / 乗車券販売券売機 1 式

また、日本バス協会のバス輸送改善推進事業として、次のとおり会員事業者が助成を受けた。

・人と環境にやさしいバス

軽減ブレーキ	1 両	(1 0 0 千円)
ノンステップバス	8 両	(2, 4 0 0 千円)
リフト付きバス	2 両	(1, 0 0 0 千円)

・地方路線バス及び貸切バス 8 両 (4 0 0 千円)

・バス運転者の大型二種取得養成助成 5 名 (2 5 0 千円)

7. 安全輸送対策事業について

(1) 春・秋の全国交通安全運動、夏のおおいた事故ゼロ運動及び年末・年始の輸送等に関する安全総点検運動と併行した第 6 1 回バス無事故運動を通じ、バス事業に携わる従業員の安全運転の意識高揚と運行管理体制の強化を図った。

また、今年度より事故防止対策委員会を再開し、会員間でより事故防止・事故抑止への一致団結、情報共有ができた。

(2) バス事故の 3 割を占める車内事故の防止を図るため、日本バス協会では 7 月を「バス車内事故防止キャンペーン」月間として、全国的に防止対策の推進を行っていますが、当協会においても利用者への啓発活動として、主要バス停、ターミナル、バス車内でのポスターの掲示等のほか、県下主要市町に市報等広報誌への掲載の依頼を行い、6 市 3 町でご協力を戴いた。

(3) 交差点等における重大事故を防止するため、「交差点右左折時には横断歩道の手前で一旦停止」する安全輸送を決議した。(令和 5 年 6 月 2 7 日事故防止対策委員会にて)「一時停止 徐行」のプラカードを作成し、乗合会員が街頭で掲げ広報活動を実施。また、乗合バスの後方に「右左折時の横断歩道手前では一時停止徐行します」のステッカーを追加作成し全車両に貼付できるようにし、バス後方通行車両への注意喚起を行った。

(4) 交付金事業による運転者の適性診断 (2 5 4 名)、運行管理者講習 (9 4 名)、安全マネジメント関係講習 (2 3 名)、睡眠時無呼吸症候群 (1 9 8 名)、脳ドック検査 (1 2 7 名) 等安全輸送対策の強化に努めた。

8. 表彰関係

令和 5 年 1 0 月 2 1 日 九州運輸局長から自動車関係功労者として従業員 3 名、運転者 1 名が表彰

令和 5 年 1 2 月 1 日 日本バス協会長から優良バス運転者 4 名が表彰

令和 5 年 1 2 月 1 日 大分県バス協会長から優良従業員 5 名が表彰

令和 6 年 1 月 2 2 日 大分県警察本部から当協会に
交通抑止功労についての「感謝状」

9. 広報活動

バスの日を利用したの広報事業

ラジオ特番 9 月 2 0 日 (水) OBS 大分放送 (情熱ライブ! Voice)